

テーマ: 人材育成の手法



Q. 職員に、技術を高めてもらいたいと思うのですが、研修を受けさせても、教わったことがなかなか実践されません。また、研修に抵抗感を示す職員さえいます。特に、職員のコミュニケーション力を高めたいと思って研修を実施しても、最も教わって欲しい職員ほど、研修に出てこないのですが…。

A. 人は、望んでもいないことを教え込まれると、不満ばかりが出てくるものです。当初は、職員から「こんなことを学びたい」とリクエストを取ることから始めましょう。自分から望んで学んだことは必ず身に着くからです。そして、職場としての研修に興味を持たせましょう！



ポイント

職員がみずから成長したくなるようにするためのポイント

【1】 まず、課題（痛み）を共有すること

「成長してもらわなければ、この病院も職員も、このままでは退化してしまうことになる！」という課題を、職員の方々と共有することです。課題を自分の問題として感じられれば、その職員は、「何とかしなければ」と、みずから解決策を探し始めるからです。

【2】 次に、「どんな解決策が必要か？」方向性を明確に！

そこで、「こんなことを学んだらどうか？」と方向性を提示し、学ぶチャンスを与えれば、職員にとっては願ってもない助言です。職員は、達成感を得られ、喜んで学ぶことでしょう。

【3】 そのうえで、効果が上がったなら、その職員を認めて褒めるようにしましょう！

職員がみずから成長したことを褒め、その事実を院内で共有すると、他の職員の大きな刺激と参考になります。

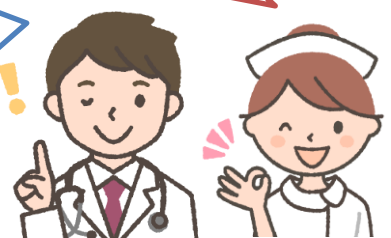
・重要！！・

職員が成長したい時に、学ぶ機会を与えて応援すれば、職員と病院との信頼関係も築かれます。

「学ぼうと思えば学ばせてくれる」組織になることが、職員が成長する秘訣です。「学びたい」「成長したい」と思わせることが最も重要です。

職員自身が「学びたい」と思っていれば、自分から、さまざまな書籍・セミナー・研修講師などを探してきます。自主勉強会にするか、講師を招いた研修にするかといった企画まで、職員に任せれば、意識がさらに高まります。

もし、多くの職員に学ばせたいことがある場合にも、部署長に個別に話をし回り、賛同者を増やしておいてから会議に諮ると、「賛成する人が多いなら」と、可決されやすくなります。



無料

お困りのことやご不明な点などがございましたらお気軽にご相談ください！
社会保険労務士と医業経営コンサルタントがアドバイスいたします(秘密厳守)。

東京都医療勤務環境改善支援センター随時相談窓口

☎ 03-6272-9345 (平日9時30分から17時30分まで)

詳細はこちらから検索！ ⇒

勤務環境かいぜんサポートナビ

